

はじめての 万葉集

日本に現存する
最古の和歌集「万葉集」を
わかりやすく紹介します

vol.
125

二代の岡本天皇

『万葉集』巻四は、恋の歌を中心とする「相聞」の巻です。今回の歌は、巻四の巻頭近くの長歌、「岡本天皇の御製一首」（四八五番歌）に付随する短歌二首の一首目です。

長歌では、多くの人々が鴨のように群れて行き交うが、私が恋い慕うあなたではないので、日々眠ることができず、今日も夜を明かしてしまつた……と詠まれます。続くこの短歌でも人々を鴨にたとえつつ、自らの心情を「さぶし」と表します。「さぶし」の語は対象の不在や喪失の際に抱く感情に用いられ、「悲し」と言い換えられる例も見られます（巻一・二九番歌、巻三・四三四番歌）。「さぶし」は不愉快な感情につく間投助詞で、『日本書紀』の歌に「あれは苦しる」という例もあります。「さぶし

山の端に あぢ群騒き 行くなれど

われはさぶしる 君にしあらねば

岡本天皇 巻四（四八六番歌）

訳

山の端にあぢ鴨の群が騒ぐように

人は行くのだが、私はさびしいことよ。
君ではないから。

ゑ」に続く「君にしあらねば」は、長歌にある句をそのまま繰り返し返したものです。人はたくさんいるけれど、あなたではないので寂しい、という歌です。

さて、題詞の「岡本天皇」について、次のような注が付されています。いま考えてみると、高市岡本宮と後岡本宮と、二代二帝それぞれ別である。ただ岡本天皇とだけいうのではどちらを指すのか明らかでない（四八七番歌左注）。――舒明天皇の岡本宮（六三〇～六三六年）と、同じ場所に齐明天皇が再建した後岡本宮（六五六～六六一年）があり、歌の作者が舒明天皇なのか齐明天皇なのか不明だという注です。

『万葉集』で「君」は女性からみた男性を指すことが多く、この歌の「われ」は女性である齐明天皇とみるのが穏当ではあります。また巻九にも齐明天皇について「岡本宮御宇天皇」と記したと見られる例があります（一六六五番歌



題詞）。ただ、舒明天皇が男性に向けて詠んだとみる余地もあることから、「どちらかわからない」という左注が残されているでしょう。
舒明天皇の岡本宮は明日香村の国史跡「飛鳥宮跡」の最も早い時期のⅠ期遺構、後岡本宮はⅢ―A期遺構が相当すると考えられています。
（本文 万葉文化館 阪口由佳）

万葉文化館 イベント情報

◆ 館蔵品展「万葉 恋ものがたり」

開催中～9月16日（祝）

『万葉集』におさめられた男女の恋歌をモチーフに描かれた「万葉日本画」から、万葉の人々の恋模様を垣間見てみましょう。



木村圭吾《情焼く》
奈良県立万葉文化館蔵

※県内在住、65歳以上の方は身分証明書を提示で半額。その他、割引制度もありますのでお問い合わせください。

◆ 万葉集をよむ「春の相聞（2）」

（巻8・1456～1464番歌）

9月4日（水）14時～15時30分

無料

〔定員〕150人（先着・申込不要）

※オンライン視聴は要申込（定員なし）

〔講師〕中本和（当館主任研究員）

◆ にぎわいフェスタ万葉 秋

9月15日（日）～12月4日（水）

◆ 万葉の日記念講座

9月15日（日）14時～16時30分 無料

〔定員〕150人（先着・申込不要）

※オンライン視聴は要申込

（定員なし）

〔天武と聖武―「万葉集」を軸に―〕

井上さやか（当館企画・研究係長）

〔古事記・「日本書紀」と天武天皇〕

阪口由佳（当館主任研究員）

〔聖武天皇と皇統意識〕

中本和（当館主任研究員）



奈良県立 万葉文化館
☎0744-54-1850
🌐www.manyo.jp